

2024年2月号 / No.250 / 令和6年1月20日発行



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



巨勢川調整池・猛禽祭り (撮影：加藤 芳隆さん)

野鳥さが 250号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 事務局便り-----3ページ
- 各地の探鳥会報告-----5ページ
- 皆さんからのおたより-----10ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----13ページ
- 近隣地区の観察会情報&有明海の満潮時刻-----16ページ
- 探鳥会会場までの案内-----17ページ
- 探鳥会などのお知らせ (2024年2月~4月)-----18ページ



役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】 2023年12月10日、2024年1月7日

【出席者】 12/10:13名 1/7:14名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) コアジサシについて

- ① 今年もコアジサシの営巣を期待したい。
- ② 助成金が無い中での営巣に必要な物品等の準備など、営巣地の運営について意見交換を行った。
- ③ 2月18日にデコイの色塗りを森林公園で行う予定。3月30日～31日に営巣地の整備を行う。

(2) コウノトリについて

- ① 本年のまたの営巣を期待している。
- ② サントリーからの基金を活用したい
- ③ 巣塔をさらに増設するなど予定している

(3) ブッポウソウについて

- ① 5月にはブッポウソウが渡ってくるだろう
- ② 巣箱を10個ほど増やして営巣や繁殖を期待したい。
- ② すでに設置した巣箱のメンテナンスも必要。



(4) カササギについて

- ① 佐賀県の県鳥カササギの保護を進めていきたい
- ② 佐賀県庁にも更なる努力をお願いしたい

(5) ガンカモ調査について・・・有明海沿岸でガンカモ調査を行う。担当決めを行った。

(6) ビオトープについて

- ① 東与賀の田園地帯の一角にビオトープを造成する。
- ② 徳島県のビオトープを見学し。情報やノウハウを集める予定

(7) 佐賀市野鳥調査について

- ① 2024年は佐賀市内14ヶ所の野鳥調査を行う。
- ① 佐賀市野鳥調査を季節ごとに行う予定。
- ② 2月に担当を決めていく。各調査箇所ごとに2人体制で臨み、より綿密な調査をしたい。



(8) 30周年記念行事について

- ① 6月23日に記念行事を行う
- ② 案内状などいくつかの段取りがあろう。少しずつ詰めていく

(9) その他、今後の探鳥会などについての協議を行った。



事務局便り

(事務局:青柳 良子)



(1) ようこそ 佐賀県支部へ!・・・支部入会者情報

新入会者 8名 佐賀県支部は会員数がジワジワと増えています(*^_^*)

支部報 249号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

11月入会者 1名(家族会員) 12月入会者 2名

1月入会者 5名 (うち家族会員1名)

佐賀県支部の会員は現在277名です。

新入会員の皆様! 積極的に参加してください。楽しい仲間が待っていますよ!
また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されていない方もいらっしゃいます。
是非いらしてください。お待ちしております!

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もおられます。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通して
どんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が!

みんなの出し合う会費が!

自然を守る『力』になります!

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き
継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃい
ませんか? 是非お誘いください。野鳥の会は「いつでも入会OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と
人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



(2) 佐賀県支部 30 周年記念式典のご案内

日本野鳥の会佐賀県支部は今年6月で30周年を迎えることとなります。
30周年を迎えるに当たり下記案内の日時で式典を執り行います。

【会場】グランデはがくれ（佐賀市天神2丁目1-36）

【日時】6月23日（日曜）

15時～17時 支部総会・記念講演

17時～21時 懇親会



記念講演は（財）日本野鳥の会バードウォッチングスペシャリストの「安西英明氏」に
お願いします。

午前中はコアジサシ保護地 or コウノトリ営巣のウォッチングを計画しています。

※ 詳しい案内は次回支部報で致しますが、会員の皆様には是非万障繰り合わせての
ご参加お待ちしております。

(3) 環境講演会「生物多様性ってなーに？」の開催のご案内

（情報提供：中村 さやかさん）

今話題の「生物多様性」について分かりやすく学べる講演会が鹿島市で開催されます。
講師に環境系エンターテイナーのWoW キツネザルさんと、現役佐賀大生でありながら
「やながわ有明海水族館」の館長を務める亀井裕介さんを招き、生物多様性や有明海の生
きものについて楽しく学べます。佐賀県でのWoW キツネザルさんのご登壇は初めてと
なります。また、亀井さんはテレビ等でもご活躍のため、ご存じの方も多いのではない
でしょうか？ **入場無料**です。ぜひご参加をよろしく願いいたします。

【日 時】2024年2月12日（月・祝）

14:00～16:30（13:30～受付開始）

【会 場】佐賀県鹿島市生涯学習センター「エイブル」

【プログラム】

14:00～15:00 WoW キツネザルさんのおはなし

「みんなでまなぼう！ 生物多様性ってなんだろう？」

15:30～16:00 亀井裕介さんのおはなし

「すごいぞ！ 有明海、佐賀県、鹿島市の生きものたち」

16:00～16:30 まとめと閉会のごあいさつ

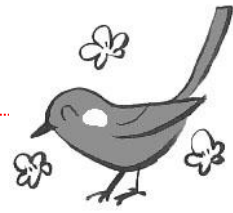
ラムサール条約登録湿地「肥前鹿島干潟」Web サイト

<https://hizenkashimahigata.com/>





各地の探鳥会報告



■東よか干潟（大授揚）探鳥会報告（佐賀市）

①【日 時】 2023年11月12日

【参加者】会員12名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、ムナグロ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ソリハシセイタカシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、コオバシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、モズ、ハシボソガラス、ジョウビタキ、スズメ、ホオジロ（34種）

【案内役より】

前日から急に冷え込み、風も冷たい。

まず本日の目標、ソリハシセイタカシギ2羽を見る。100羽を超えるダイシャクシギ群中に数羽のホウロクシギ。水際にはアカアシシギ、コアアシシギ、クロツラヘラサギ40羽。足にはE92、N42のテープが巻かれている。

満潮時には思ったよりも潮は来ず、150mほど干潟が残る。

ズグロカモメ200羽、ツクシガモ24羽も飛来し、冬が近いと感じる一日でした。

②【日 時】 2023年12月14日

【参加者】会員13名 非会員2名（案内役：田中丸 雅雄、加藤 芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ホシハジロ、アオサギ、ダイサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ムナグロ、ダイゼン、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、ソリハシセイタカシギ、オオハシシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、コオバシギ、ハマシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、メジロ、ハクセキレイ（37種）

【案内役より】

平日の開催にもかかわらず、15名の参加者がありました。

曇り空ですが暖かい朝です。干潟にはズグロカモメが一面に休息中です。

まず、当地では2年ぶりのミヤコドリ。次に今年も越冬中のソリハシセイタカシギ2羽。西へ移動しハジロコチドリ。最後にコオバシギを見て終了する。

■アザメの瀬探鳥会報告（唐津市相知町）

【日 時】 2023年12月3日

【参加者】会員18名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ダイサギ、アオサギ、クサシギ、トビ、ハイタカ、キジバト、コゲラ、キセキレイ、セグロセキレ

イ、モズ、シロハラ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、クロジ、カワラヒワ、アトリ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
【案内役より】 (27 種)

時々薄日が差す曇り空、風はありませんが寒い探鳥会でした。

鳥は冬鳥も入って、ますますの出でした。紗良ちゃん(小学4年生)はじめ新会員の方々が参加してくれました♪

今後は出来るだけ佐賀県内網羅するよう探鳥地を広げたいと考えています!

皆さんの家の近くで、鳥が沢山生息する場所ご存じでしたら教えてください。

■宇宙科学館周辺探鳥会報告(武雄市)

【日 時】 2023年12月17日

【参加者】会員9名 非会員1名 (案内役:馬場 清)

【観察された野鳥】キンクロハジロ、ヒドリガモ、マガモ、ホシハジロ、コガモ、ヨシガモ、アオジ、メジロ(声)、ヒヨドリ(声)、ジョウビタキ(声)、ハクセキレイ、キセキレイ、セグロセキレイ、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、カイツブリ、オオバン、トビ、ミサゴ、カワウ、コサギ、アオサギ、ダイサギ、イカルチドリ、ハチクマ、トビ、チゴハヤブサ、コゲラ、ツバメ、サンショウクイ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス (24種)

【案内役より】

当日、早朝は気温が下がり小雪もちらつき山間部はうっすらと白くてなった。

寒空でみぞれ降る朝で、取り止めも“よぎり”でしたが、鳥を愛する人の仲間たちは必ず来てくれるでしょう。待つ事40分、一番に支部長さんが来てくれた。

その後、数名の仲間たちも来てくれる。見知らぬご婦人ひとりと挨拶を交わした。

ある会員さんより観察会の開催を聞き参加されたそうです。

鳥に関心をお持ちの方々がおられます。会員の皆さん、誘いの声掛けが大事です。その一声が会員拡大に繋がります。

目標の300名目前です。頑張りましょう!

湖畔ではイカルチドリやハジロカイツブリは初の確認です。

寒さに負けないように気分を高揚させて遊歩道を回り奥の水辺へ。やぶの中には小鳥が寒そうに動いている。

種類の確認が容易でない。

種類の確認が容易でない。

空から小雨が落ちてきた。切り上げて鳥合わせをやる。

(写真提供:馬場 清さん)



■麓地区探鳥会報告(鳥栖市)

【日 時】 2023年12月23日

【参加者】会員12名 非会員3名 (案内役:橋本 泰博)

【観察された野鳥】キジバト、アオサギ、ダイサギ、ハイタカ、ノスリ、コゲラ、モズ、ハシブトガラス(声)、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス(声)、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハク

セキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、ホオジロ、カシラダカ、アオジ （27種）

【案内役より】

佐賀市から東の方の観察会が非常に少ないので、鳥栖市の麓地区で一昨年から実施している。観察の順路には、水田、畑、雑木林、荒地、小川、溜め池があり、里山コースと言える場所で、普通の留鳥や冬鳥の観察が期待できる。

しかしながら、今年も溜め池の水を落としてあったので、カモ類を見ることができなかった。オシドリも入ることがあるので、残念だった。更には、上流側の溜め池に埋め立ての計画があるらしく、土砂が搬入されつつあって、大いにがっかりした。しかし、今年は、昨年より観察会の期日を遅らせたこともあって、観察された鳥の種類が多く、参加者も多かった。佐世保市や、柳川市からの参加者もあって、賑やかな観察会になった。

今回のベストシーンは、5羽のシメと2羽のイカルの群の観察だった。イカルもシメも観察されたことはあるけれど、基本的には単独行動が多いシメの群を見られたことと、声はすれども姿は見せず、ということが多いイカルをしっかりと観察できたことがとても良かった。

鳥見を初めてある程度経験を積んでくると、珍鳥以外は軽んじる傾向が出て来やすいのだが、見慣れた鳥でも、よく見ると色んな姿を見せてくれるし、人によっては初見ということもあるので、鳥見になれ過ぎて感動する目と心をなくさないようにしなければいけないと自省した。

観察会では、鳥をできるだけ大きく確実に見せることで、参加者に感動が生まれ、知見が深まる。そのことが、会の活動の活発化と会員増につながると思う。

今回も、見つけた鳥をスコープに捕らえて参加者に見せたときに、大きな歓声が上がった。こんな時、案内役冥利に尽きるとの思いを持ったものだ。野鳥の会としても、スコープをある程度の数を揃えて、自分の手でスコープ越しに鳥の姿を見て賞えるようにしたら、更に良い観察会になるのではなかろうか。

■朝日山 New Year 探鳥会報告（鳥栖市）

【日 時】 2024年1月2日

【参加者】 会員26名 （案内役：橋本 泰博）

【観察された野鳥】 マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、ヒクイナ（初）、バン（初）、オオバン（初）、ケリ、イソシギ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、マミチャジナイ（初）、ツグミ、スズメ、ジョウビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメ、イカル、アオジ、クロジ、ミヤマホオジロ （37種）

【案内役より】

集合場所である朝日山下の駐車場で参加者の点呼を取り、例年の如く宮原支部長の挨拶を受けてから、令和6年第1号の観察会を始めた。南の駐車場を出発し、車道を山頂直下の駐車場まで登って北側の芝生広場へと下り、安良川に沿って井関ま

で歩いてからゴルフ場のフェンス沿いに出発地へと帰るコース。
朝日山はちょうど良い散歩コースなので、歩いたり走ったりする人たちや、ドライブの車などが多かった。だから、鳥が逃げてしまいがちだったけれど、アオジ、クロジ、ミヤマホオジロなどの冬鳥が見られたし、まさかのマミチャジナイ（旅鳥）まで出てきてくれた。メジロを中心とした小鳥たちの混群にも出会った。
また、シロハラはヒヨドリより多いくらいあちらこちらにいた。不思議なのは、うんざりするほどいたソウシチョウが、影も形もなかったこと。減りつつあるのなら、むしろ喜ばしいことだろうけれど。
新年早々、朝日山観察会に参加された皆さん、お疲れ様でした。参加者が例年にならない大人数だったせいか、見られた鳥もこれまで一番の多さでした。今年もたくさんの鳥や鳥友との楽しい出会いがあることを願っています。



集合場所の駐車場で観察中



イカル

(写真提供：加藤 芳隆さん)

■巨勢川調整池探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2024年1月7日

【参加者】会員16名（案内役：島田 洋）

【観察された野鳥】カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、オナガガモ、ホシハジロ、マガン、ミサゴ、チュウヒ、トビ、チョウゲンボウ、オオバン、タゲリ、クサシギ？、キジバト、ドバト、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、ジョウビタキ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス（37種）

【案内役より】

曇り空、北西からの寒風が吹き付けます。
とにかく寒い。午前9時過ぎに観察開始。
広い調整池ですが、水鳥の姿がちょっと少なめでした。12月までは池一面にトモエガモが群れていましたが、今日は少なめです。
それでもいろんな種類の水鳥を観察できました。
池の水面にミコアイサもいます。

上空には猛禽の姿。撮影された写真によると

チュウヒだそうです。強風が吹くなかでチョウゲンボウは空中の一点に滞空して



(写真提供：加藤 芳隆さん)

います。すごい能力です。 歩く内に少しずつ晴れ間がのぞくようになりました。虹がきれいです。 巨瀬川調整池は、野鳥観察にはうってつけの場所です。これからも大事にしていきたい場所です。参加者もたっぷり楽しんでおられました。

■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

【日 時】 2023年12月10日

【会 場】石井樋・多布施川河畔公園（佐賀市）

【参加者】非会員5名（会員・スタッフ：14名）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ハイタカ、バン、オオバン、キジバト、ドバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、カササギ、ハシブトガラス、ハシボソガラス

【案内役より】 (34種)

12月なのに暖かい。晴天です。石井樋公園の駐車場が集合場所。非会員の方が、5人参加されました。9時過ぎに観察開始。嘉瀬川は水位が低く、岸の砂地が広くむき出しになっています。セグロセキレイやカルガモ、はるか遠くの高圧線の電線にカワラヒワがずらりと列をなしていました。道を渡り、多布施川河畔公園に移動します。ジョウビタキやツグミ、モズなどこの季節の鳥たちが観察できました。コゲラが2羽。一心不乱に木の幹を突いていました。

それにしても暖かい。池の石の上ではアカミミガメが甲羅干しです。12月なのにこの風景はないでしょう。参加者が期待するのはカワセミ。そして池のそばの楓にカワセミの姿がありました。「この公園、いろいろ出てくるね」というのが参加者の感想です。2時間あまり楽しい観察ができたと思います。

佐賀県支部では、非会員向けの観察会をちよくちよく開催してきました。

こういう観察会がきっかけで野鳥の会に入会される方がおられます。

今後も非会員向けの観察会を開催して会員増につなげていこうと思います。



←コゲラ キセキレイ ハイタカ
(写真提供：中山 聡さん)



皆さんからのおたより



●「オーストラリア パース探鳥記」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

昨年9月11日～16日、オーストラリアのパースへ探鳥旅行に行きました。きっかけはネットでたまたま見た2頭身の愛らしい小鳥（オーストラリアムシクイ）に心をつかまれて会いたいと思ったからです。主人と行ける時期を調べると南半球のパースはちょうど日本の春くらいで、野性の花が咲くワイルドフラワーフェスティバルが開催されるようでした。鳥と野草の花の一石二鳥です。

格安航空券、B&B (Bed and Breakfast) 朝食付きの民宿とレンタカーを予約。手荷物を機内持ち込み可能範囲にすませた節約旅行です。福岡空港→バンコク空港→クアラルンプール空港→パース空港と乗継ぎ2回で9月12日到着。

パースは「世界で最も美しく住みやすい街」といわれてる西オーストラリア州都です。キングspark、エリックシングルトン鳥類保護区、パース北部のニールホーキンスパーク、ヤンチャップ国立公園で探鳥しました。

オーストラリアには約830種類の鳥類が生息しており、その45%がオーストラリア固有種だそうです。モモイロインコ、ゴシキセイガイインコは公園などでみかけることができます。ムシクイはたくさんの種類があり、小型のオーストラリアムシクイ属は12種類、パース近郊で見られる数種のうち、会いたかったムラサキオーストラリアムシクイに会うことができ大変喜びました。春だからかインコたちはどこでもペアでした。

クチバシが白いキバシヘラサギ、クビワアカツクシガモなどたくさんの初見の鳥に会えて大満足の旅行になりました。



ワイルドフラワーフェスティバル会場



モモイロインコ



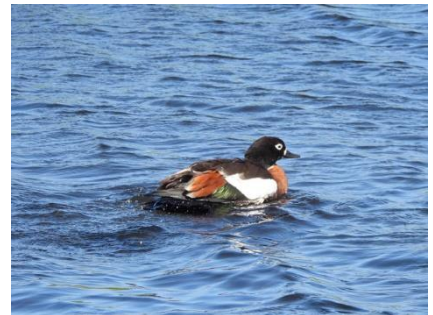
アカビタイムジオウム



ムラサキオーストラリアムシクイ



アカミミダレミツスイ



クビワアカツクシガモ





キバシヘラサギ



ワライカワセミ



カンガルー

●「多布施川公園のカササギ part2」・・・中山 聡さん（佐賀市）

12月10日に非会員向け探鳥会が多布施川河畔公園で開催された時の鳥合わせでは「声だけ」で残念でした。年が明けて、とてもきれいに羽根が光るカササギが撮れました。



（撮影日：2024年1月5日）

●「カメラでウオッチング from “OUTI” Part8」

・・・小松 常光さん（唐津市相知町）

【毒草は御ご馳走】冬にやって来るジョウビタキ（紋付鳥）は毒草のマムシグサの実を食べると聞いた。虫だけを食べる鳥だと思っていたのに??

ならばと竹を立て先端にマムシグサの実をくくりつけておいた。

最初は全く反応なかったが、ある日、実を食べているではないか!!

①止まって警戒してーッ ②突っついてーッ ③④実が取れたあーッ

⑤実を啜って飛んだあーッ という具合。前から食べに来ていたようだが気付かないでいた。証拠に実がだいぶ無くなっている。

(12/1)



【庭先の小鳥】 今年は家に来る冬鳥がとても少なくてエサにもあまり来ない。
アトリは集団どころか一羽も来ない。 北の地方で留まっているんだらうか？
くず米は 100 キロ以上用意しているのに。

- ①メジロ ピーナッツクリームで作る練り餌にやっと来た。 練り餌オイチィ〜
- ②シジュウカラ 食べてェ〜 ③帰ろうーッ と飛んでった。
- ④アオジ 目立たぬようにィ〜 こっそりと降りて来る。 実際はもっと薄暗い場所。
エサには来ない。

(12/9)



【菜の花】 こちらも早過ぎでしょうが、道端のあちこちに菜の花が咲き出しています。
【オオイヌノフグリ】 春先に満開になるオオイヌノフグリが陽射しに反応してアチコチに開いていました。

(1/7)

【フキノトウ】 早くもあちこちにフキノトウが顔を出してきました。
早速フキノトウ味噌をこさえてみました。

【河津桜の新芽】 チラホラと花も咲き始めていますが、寒さの中、霜にもめげず新芽を開かせています。

【ホトケノザとお日様】 春の花ホトケノザが咲き出していて、お日様を浴びて気持ち良さそうでした。

(1/16)



菜の花



オオイヌノフグリとハコベ (右下)



フキノトウ



←河津桜の新芽



ホトケノザとお日様





皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

★今日の大授搦（東よか干潟）

【11月25日】シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン 281羽、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オオハシシギ9羽、アカアシシギ22羽、コアオアシシギ、アオアシシギ66羽、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ186羽、ホウロクシギ1羽、チュウシャクシギ1羽、ソリハシセイタカシギ2羽、ツクシガモ537羽、ホシハジロ、ハシビロガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、クロツラヘラサギ（ヘラサギ含）65羽、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ

【11月26日】アカツクシガモ

【12月23日】シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、ハマシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ソリハシセイタカシギ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ヒドリガモ、ズグロカモメ、ユリカモメ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、オオタカ

【12月28日】ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ハジロコチドリ 1羽、トウネン 4羽、ハマシギ、オオハシシギ8羽、ツルシギ 3羽、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、チュウシャクシギ、ソリハシセイタカシギ



ズグロカモメの飛翔



クロツラヘラサギ



ソリハシセイタカシギ



シギ・チドリの飛翔



ハジロコチドリ



★その他の地区

巨勢川調整池

【11月19日】トモエガモ 1000羽以上、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ 2羽、オオバン、カイツブリ 3羽、カンムリカイツブリ 3羽、ハジロカイツブリ 2羽、ダイサギ、アオサギ、カワウ、ミサゴ、モズ、ホオジロ、スズメ



トモエガモ



ハジロカイツブリ



【11月23日】コハクチョウ 3羽

【12月3日】トモエガモ 3万羽、オナガガモ、マガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、カルガモ、オカヨシガモ、ミコアイサ 3羽、カイツブリ、カンムリカイツブリ 2羽、オオバン、カワウ、ミサゴ、ハイロチュウヒ♀3羽、オオタカ幼鳥、ホオジロ、モズ、カワセミ、オオジュリン、キジバト、ハシボソガラス、オオノスリ

【12月9日～10日】トモエガモ 4万羽、オナガガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カルガモ、マガモ、スズガモ、ミコアイサ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、カワウ、ハイロチュウヒ♀3羽、オオタカ、ミサゴ、トビ、ハイタカ、モズ、ホオジロ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、キジバト、ミヤマガラス、ハシボソガラス

【12月24日】アメリカヒドリとヒドリガモの雑種



コハクチョウ



アメリカヒドリとヒドリガモの雑種



ハイロチュウヒ

白石

【12月17日】アカツクシガモ、キンクロハジロ、ツクシガモ、オナガガモ、カルガモ、ホシハジロ、スズガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、ヒシクイ、マガン、ホシムクドリ、ハヤブサ、ミサゴ、カワラヒワ、タゲリ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、アオサギ

【1月4日】ツクシガモ、コガモ、カルガモ、マガモ、キンクロハジロ、スズガモ、ホシハジロ、ハシビロガモ、オナガガモ、マガン 11羽、ヒシクイ 9羽、ユリカモメ、セグロカモメ、オオバン、ハヤブサ、ハクセキレイ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ムクドリ、ホシムクドリ、ヒバリ、

【1月8日】コウノトリ 3羽、クロツラヘラサギ、タゲリ、ホシムクドリ、ムクドリ、オオジュリン、ホオジロ、ハシブトガラス、ツクシガモ、バン、オオバン、カイツブリ、ヒバリ、コガモ、ハシビロガモ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ

1月4日 【横武クリーク】スズメ、ツグミ、ヒヨドリ、ウグイス、カワラヒワ、シロハラ、ムクドリ、マガモ、チョウゲンボウ、ジョウビタキ、ゴイサギ

1月7日 【鎮西山】ヒヨドリ、シロハラ、ジョウビタキ、コゲラ、ウグイス、メジロ



アカツクシガモ



ツクシガモ



ハヤブサ



ヒシクイ



マガン



～野鳥さが原稿募集中～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp



● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- 福岡市西区今津：2/4 (日) 3/3 (日)
- 福岡市大濠公園：2/10 (土) 3/9 (土)
- 筑紫野市天拝山：2/18 (日) 3/18 (日)
- 春日市春日公園：2/6 (火) 3/5 (火)
- 福岡市和白海岸：2/11 (日) 3/10 (日)
- 福津市久末ダム：2/25 (日) 3/24 (日)

詳しくは福岡支部のホームページをご覧ください。

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

- 小郡市花立山：2/4 (日) 3/3 (日)
- 久留米城址：2/25 (日) 3/24 (日)
- 大牟田市諏訪公園：2/11 (日)
- みやま市濃施山公園：3/10 (日)

詳しくは筑後支部のホームページをご覧ください。

※上記以外にも、月例探鳥会（福岡支部）や企画探鳥会（筑後支部）が実施されています。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>

筑後支部 <https://wbsj-chikugo.org/>



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

1 月の潮位と時刻は気象庁の潮位表（大浦港）を参考に算出しています。

	時 刻	潮高 (m)		時 刻	潮高 (m)
2月9日	9:22	5.2	3月9日	8:58	5.3
2月10日	10:05	5.5	3月10日	9:38	5.6
2月11日	10:43	5.6	3月11日	10:14	5.7
2月12日	11:17	5.6	3月12日	10:46	5.7
2月13日	11:47	5.5	3月13日	11:14	5.5
2月14日	12:13	5.3	3月14日	11:38	5.3
2月24日	9:44	5.0	3月24日	9:05	5.0
2月25日	10:10	5.1	3月25日	9:30	5.2
2月26日	10:32	5.2	3月26日	9:55	5.2
2月27日	10:53	5.2	3月27日	10:19	5.3
2月28日	11:13	5.1	3月28日	10:41	5.2
2月29日	11:33	5.0	3月29日	11:03	5.0

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）

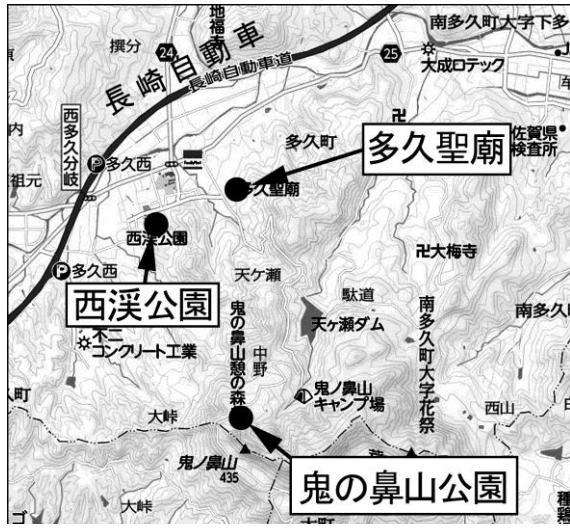




探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①2月4日 多久市・多久聖廟



②2/11 ⑤3/10 ⑦4/25 東よか干潟



③2月23日 伊万里市・小島古墳公園



④3月3日 佐賀市・県立林業試験場



⑥4月7日 小城市・千葉城址



今号の表紙 (上) ハイロチュウヒ (左) オオタカ (右) オオノスリ





探鳥会などのご案内 (2024年2月～4月)

①2月4日(日)

多久聖廟観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00 多久聖廟駐車場
(多久市多久町西ノ原 1833-3)
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 里地で越冬中の小鳥を探します。

③2月23日(金・祝)

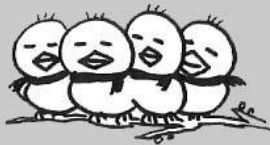
小島古墳公園観察会(伊万里市)

[時間&場所] 9:00 小島古墳駐車場
(伊万里市山代町久原)
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 古墳周辺に生息する小鳥類を観察します。

⑥4月7日(日)

千葉城址探鳥会(小城市)

[時間&場所] 9:00 「ほたるの郷」駐車場
(小城市小城町岩蔵81-8)
[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
[見どころ] 千葉城址周辺で春を過ごす小鳥たちを観察します。



②2月11日(日) ⑤3月10日(日)

⑦4月25日(木)

東よか干潟(大授瀬)探鳥会(佐賀市)

[集合] (2/11)9:00 (3/10)8:00 (4/25)9:00
東よか干潟展望台 (佐賀市東与賀町田中)
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 2/11 は干潟で越冬するシギ・チドリたち、
3/10 はそろそろ渡りの準備を始めた冬鳥たち、
4/25 は渡りのピークを迎えたシギ・チドリたちを観察します。

④3月3日(日)

林業試験場観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 県林業試験場駐車場
(佐賀市大和町大字池上3408)
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 林で越冬する「ツグミ」「キクイタダキ」を観察します。キクイタダキは日本最小の鳥の一つで、全長10cm、オリーブ緑色の、かわいい～鳥です。
(トイレは利用できません)

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡をして下さい。

共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代)佐賀県支部会員100円 非会員は300円
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>